



Jems News

No. 159

2026 年 8 月 15 日

日本環境変異原ゲノム学会

<https://www.j-ems.org>

***** 学会・シンポジウム開催のお知らせ *****

「日本環境変異原ゲノム学会 第55回大会（東京）」のお知らせ

大会会長：戸塚 ゆ加里（星薬科大学）

日本環境変異原ゲノム学会第55回大会は、2026年11月14日・15日に星薬科大学（東京都品川区）にて開催致します。

本大会のテーマは「ゲノム科学で探る、環境要因と健康リスク」といたしました。環境要因によって誘発されるゲノム・エピゲノム変化と、それらが健康リスクへと結びつく分子機構について、基礎研究から応用研究、さらには規制科学に至るまで、分野横断的な議論の深化につながるようなシンポジウムの企画を進めております。また、国際的な視点からの議論を深めることを目的として、健康リスクに関して共通の課題を有すると考えられる韓国および台湾の関連学会との合同シンポジウムも企画しております。さらに、医療機器の遺伝毒性評価に関するシンポジウム及び環境エピゲノミクス研究による個体影響および経世代影響をテーマとしたシンポジウムを開催する予定であり、アカデミアのみならず企業からご参加の方々にも高い関心を持っていただけるものと思います。また、特別講演には京都大学大学院医学研究科の小川誠司先生を招き、体細胞モザイクとがんに関する最先端の研究成果をご講演いただく予定です。

また、一般演題はポスター発表となりますが、希望者にはフラッシュトークで研究概要の発表をして頂きます。さらに、高校生を対象とした研究発表およびセミナーを開催し、環境要因と健康リスクに関する研究への理解を深める機会を提供する予定です。これらの取組を通じて、若手研究者の育成や新たな共同研究の創出、国際的な研究交流の発展に繋がりたいと考えています。

シンポジウム、ポスター発表に加え、*in silico* やゲノム解析に関するランチョンセミナーも準備しております。

早期参加登録は7月24日から開始いたしましたので、皆さん是非ご参加ください。

現段階の開催概要は以下の通りです。

1. 日程

2026年11月14日（土）～11月15日（日）

QSARワークショップ、評議員会、研究会定例会は前日11月13日（金）に予定

2. 会場

星薬科大学

〒142-8501 東京都品川区荏原2-4-41

最寄駅：東急池上線 戸越銀座より徒歩約8分

東急目黒線 武蔵小山より徒歩約15分

都営浅草線 戸越より徒歩約10分

[\(https://www.hoshi.ac.jp/gaiyou/map/\)](https://www.hoshi.ac.jp/gaiyou/map/)

3. 大会テーマ

「ゲノム科学で探る、環境要因と健康リスク」

4. 特別講演

小川 誠司 先生（京都大学大学院・医学研究科・腫瘍生物学講座）

5. シンポジウム・ワークショップ

日韓台・合同シンポジウム1：環境汚染物質が誘発するゲノムおよびエピゲノムの変化

日韓台・合同シンポジウム2：ゲノム科学による環境要因と発癌メカニズムの解明

日本語シンポジウム1：医療機器の遺伝毒性・発がん性評価を再考する ― 科学と規制の新たな接点 ―

日本語シンポジウム2：環境エピゲノミクス研究の新展開：ゲノムと細胞記憶をつなぐ新たな視点

ワークショップ（併催・11月13日開催予定）：QSAR関連ワークショップ（仮）

6. 情報交換会

2026年11月14日（土）夕刻～

シティーホール&ギャラリー五反田

五反田JPビルディング（旧：ゆうぽうと） (<https://gotanda-hall.jp/>)

7. 実行委員：

石井 雄二（国立医薬品食品衛生研究所）

石ヶ守 里加子（星薬科大学）

岡本 誉士典（名城大学薬学部）

川西 優喜（大阪公立大学）

佐々 彰（千葉大学）

椎崎 一宏（東洋大学）

橋爪 恒夫（日本たばこ産業株式会社）

長谷川 晋也（星薬科大学）

濱田 修一（株式会社ボゾリサーチセンター）

福田 隆之（株式会社ボゾリサーチセンター）

藤本 透（メディフォード株式会社）

今井 正彦（星薬科大学内協力者）

真壁 朋子（星薬科大学内協力者）

8. 運営事務局：株式会社センキョウ

担当：長谷川 美貴，岩淵 あやか

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-4-2

Tel: 022-236-7161 fax: 022-236-7163 Mail: jems2026@senkyo.co.jp

9. 大会webサイト

<https://www.jems2026.jp/>
